

第 303 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和 3 年 4 月 1 日

株式会社エフエム石川

第 302 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日 令和 3 年 3 月 25 日
2. 開催場所 IT ビジネスプラザ武蔵 5F「研修室 3」
3. 委員の出席
総委員数 7 名
出席委員数 5 名

出席委員の氏名（50音順）

委員長 : 柳澤良一

委員 : 金井辰樹、工藤彩子、久保 勉、平木孝志

放送事業者側出席者氏名

代表取締役社長 平田 信也

放送担当部長 安地 昭博

4. 議題

業務概要の報告

番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

[業務概要の報告]

まず番組として3月14日夜7時より放送された特別番組「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦20周年学生も、やるときゃやるぞ!」について報告されました。この番組は今回の審議の対象となった番組です。

イベントとしては、3月21日に産業展示館3号館で開催された、現役スポーツ選手が小学生を対象に食育についてレクチャーする「スポめしサミット」の運営協力を行ったことや、3月27日に金沢勤労者プラザで『やさしいおさかなさばき方料理教室』とANAクラウンプラザホテル金沢で『知って得する女性のためのマネーセミナー』の2つのイベントを開催したこと、3月28日には石川県教育会館にて『ハローファイブリビングフォーラム2021 近藤典子流「よりよく年を重ねるための住まいの話～らくちん無駄なし掃除法を伝授します～」』を開催したことが報告されました。

[番組の試聴と質疑・意見交換]

【試聴番組】

番組タイトル：学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦20周年
特別番組「学生も、やるときゃやるぞ!」

放送日時：2021年3月14日(日) 19:00 - 19:55

出演：平山貴人 (ナビゲーター)
池田幸應 (金沢星稜大学教授)
小坂涼子 (金沢星稜大学4年)
岡本聡 (金沢星稜大学OB)
東孝幸 (金沢星稜大学OB)

企画・制作：エフエム石川

【番組内容】

エフエム石川が呼びかけている海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわ」の一環として、学生たちを中心に海岸清掃や郷土学習を行っている「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦」。そのスタート当初からファシリテーター(つなぎ役)としてかかわる金沢星稜大学教授の池田幸應さんと同大学の現役学生、OBら3人が、20周年を迎えたこれまでの活動の思い出や、各地の地元住民との交流の中で学んだことや考えたことを語り合いました。

■工藤委員

参加者の体験談が番組内でかなりの割合を占める中、数回しか参加していない学生たちがどれだけ話を膨らませられるか、という部分が難しいと感じました。参加した学生やOBたちの話は上手でコメントも気が利いており、この3人のレベルはとても高かったです。しかし、参加者が話しやすいようなテーマをあと2つ程増やして平山アナが中心となって聞き出す、という工夫があるとより良かったのではないかと感じました。

池田教授は話が早口で少し聞き取りにくかったですが、大学生が積極的にボランティアに参加することが少なかった20年前にこの取り組みを進めたことは素晴らしいと思いました。

内容としては、今後の展開をどうするかという話題で池田教授からしか話が出なかったのも、大学生も具体的な将来へのアイデアが出せたら良かったです。30分番組でもよかったのではないかと思います。

■金井委員

地域に溶け込み、バラエティーに富んだ活動をしていることが分かり勉強になりましたが、新聞などの記事と比べて具体性がなかったようにも感じました。例えば中能登町のイベントの話の中では、それぞれの取り組みを通じてどんな気づきがあったのか具体的に知りたかったです。

「学生も、やるときゃやるぞ！」というタイトルにもある通り、全編を通して根底にあるのが昔の学生のイメージで、古い時間軸という印象でした。20年の月日で学生たちの姿も変わってきています。また、千里浜の浸食や新型コロナウイルスの影響などが問題になっている中で、今起こっている具体的な出来事と関連付けてもよかったのではと思います。

学生やOB、先生のそれぞれの青春時代を意識した選曲や、番組が進むにつれて懐かしい曲になっていく構成などは好感を持ってました。

■久保委員

ラジオ番組は生活情報を扱うレギュラー的な番組と、今回のような単発の企画の番組の大きく2つに分かれますが、後者の企画の特別番組を作るのは難しいと感じました。

そもそも「学生クリーン・ビーチいしかわ」を知らない人もいるので活動についての説明をしっかりとしたほうが良かったです。また学生とOBの自己紹介に関しても、出身地や取り組んでいることなどももう少し人となり分かるようにすべきだと思いました。

内容については、池田教授が一回の喋りの中で、一つの話題について結論ま

で一気に話してしまっていたので、話のキャッチボールをしながら進めたほうが良かったのではないのでしょうか。また、学生とOBの3人の話は時間軸が違うだけで同じように感じたので、もう少し工夫して欲しかったです。例えば、学生の人数を減らして中能登町の担当の方や漁業関係の方の話を聞くなどすれば、話がバラエティーに富んだのではないかと思います。地元でこういう活動をやっていることをリスナーに伝えるために、こういう番組を作ったのは良かったです。

■平木委員

楽しみながらボランティアをすること、その中に一つの方針があるというのは、とてもいいことだと思います。池田教授は、短い時間の中で良い言葉をたくさん仰っていましたが、喋り過ぎていたようにも感じました。その分、学生やOBの方の参加に際しての感動や、思いが伝わってくるような具体的な話もう少しあればよかったです。海岸にはいろんなものが流れ着くと思うので、感じたことがもっとあったはずです。曲はピッタリで良かったです。池田教授が最後に選んだ曲が特に番組の雰囲気盛り上げたのではと感じました。

■柳澤委員長

エフエム石川と大学との関係、自治体や地元民との関係がよく分からなかったことに加え、ファシリテーターなどの理解しにくい言葉があったのが気になりました。じっくり腰を落ち着けてラジオを聞く人は少ないので、海岸清掃の報告だけでなくオヤツと思わせるような内容や工夫がないと興味を持ってもらえないのではないのでしょうか。ごみの内容の分析や海岸が綺麗になるための方策や提案など、もっと具体的なところまで掘り下げた方が良かったです。また、「学生も、やるときゃやるぞ！」という自分たちを自分たちでほめるテーマ設定に工夫が必要だったと感じました。もっと聞いている人を意識して、強く訴えかけるようなテーマ設定が良かったです。

全体の意見を振り返ると、タイトルが学生主体で体験の報告になってしまっていることに対する工夫が必要だった・話に具体性があったほうが良かったという意見が多かったです。

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第303回番組審議会の議事概要の公表

令和3年4月10日(土) 19:55 ~ 20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインターネット・ホームページへの掲載